**クリケットを介した国際交流企画**　資料

１．日本・英国　概要　　　　（時差：９時間）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 人口  面積 | 平均気温 | 平均寿命 | 国技  競技人口  国民比率 | オリンピック開催（ロンドン・東京） |
| 日本 | 1億2354万人  378,000㎢ | 東京  15.4℃ | 男性：81.0才  女性：87.1才 | 相撲  320万人2.59% | 第4回1908年  第14回1944年  第30回2012年 |
| 英国 | 6760万人  242,500㎢ | ロンドン  12℃ | 男性：79.2才  女性：82.9才 | クリケット  100万人  1.47% | 第18回1964年  第32回2020年 |

２．クリケット競技人口　（全世界　約３億人）　（観戦者　約25億人）

１．インド　　　　　　約１億２０００万人

２．パキスタン　　　　　　約５０００万人

３．バングラデシュ　　　　約２５００万人

４．イングランド　　　　　　約１００万人

５．オーストラリア　　　　　　約７０万人

日本　　　　　　　　 　　約０.４万人

３．日本と英国の共通点

　　・大陸の側に位置する島国である

　　・立憲君主制

　　・Ｇ７の参加国

・四季がある

・経済力がある（GDP：日本4位・英国6位）

　　・お茶（紅茶）をよく飲む

　　・自動車は右側通行

　　・庭づくりの文化がある

　　・城がある

　　・貿易が盛んである

４．英国の特徴

　　・移民が多い（アメリカ、ドイツ、サウジアラビアに次いで４位）

　　・人口は増加している

　　・日本を留学先にあまり選ばない（英国→日本　2％）

　　・英語以外の言語を話せる人は少ない

５．日本の特徴

　　・英語を話せない。ビジネスで使えるレベルの人は７％で他国の25％に比べて低い

　　・英国を留学先にあまり選ばない（日本→英国　10.5％）

　　・人口は減少している

６．大阪・関西万博

　 英国パビリオン・ おもちゃの積み木からインスピレーションを得た英国パビリオンは、

モダンで革新的、そして英国らしいユニークなデザイン。

蒸気機関車の発明から世界初のカーボンニュートラルな宇宙港まで、世界的

に優秀な人材が集まり、地球規模の課題に対する解決策を構築する機会の場

として、グレートブリテンおよび北アイルランドを紹介。

　　英国ナショナルデー　令和７年５月２２日（木）

７．英国が抱える社会問題

　・物価少々・・・・・・・・・ インフレが深刻で、食料品など前年比15％上昇している。

　・国民保健サービス（NHS）・・税金で運営され、自己負担なく医師の診察を受けれるサービス。しかし

高齢化社会の影響により、資金不足や人員不足の課題を抱えている。

　・住宅問題・・・・・・・・・ 特に都市部で住宅が高騰し、多くの人々が住居を確保するのが困難。

　・孤独問題・・・・・・・・・ 人口6,560万人のうち、900万人が常にまたはしばしば孤独を感じて

いる。2018年に「孤独担当大臣」が新設されている。

８．万博後も英国と日本の特に若者が、どのような国際交流を図ることが効果的か

　　　英国・日本とも島国といった地形や大陸付近に位置するなど地理的に共通点も多く、憲法によって

定められた立憲君主制であり、また文化的にも庭園や茶などの共通点もあります。

交流によって他の国の文化に触れることで、改めて自国の文化の良さを再認識できるものと思われま

す。英国・日本とも互いにその国に対して良いイメージがあり、特に日本は英国に対し文化や音楽な

ど憧れがありますことから、積極的に交流し、これまで学びながらも活かせていない英語を身近に感

じ、国際的な人材が育つことに期待したいと考えております。また英国の方には、日本独自の食文化

などを知っていただきたいと思います。おもてなしの精神による接客や素材を活かした調理法や味付

け、繊細な盛り付けなど、日本特有のものを知っていただき、日本人も気づいていないような「日本

らしさ」を発信していただきたいと考えております。